



ポストコロナ時代のライフスタイル 都市は変わるか

コロナ禍は、私たちの暮らしを一変させ、都市の脆弱性があらわになった。改めて、経済成長を重視する社会、経済のあり方を見直し、ポストコロナ時代における持続可能なライフスタイルに注目が集まっている。また、ポストコロナ時代は、深刻化する気候危機、拡大する格差・貧困

への対策などを視野に入れた社会のビジョンを描くことが重要となる。本講座では、「都市は変わるか」という問題意識のもと、「農の営み」「農の力」をキーワードにこれからの都市と都市生活者のライフスタイルについて考え、現場の実践者に学び、議論を深める。

●受講料

【コース1】オンライン講義+フィールドワーク:15,000円(U25割:5,000円)

【コース2】オンライン講義のみ:10,000円(U25割:5,000円)

※フィールドワークは現地への交通費・食費・実費などが別途かかります

※自由学校連続講座を初めて受講される方は、別途入学金 10,000 円が必要です。



コーディネーター 小口広太

千葉商科大学人間社会学部 准教授 / PARC 理事

1983年長野県塩尻市生まれ。日本農業経営大学校専任講師等を経て2021年より現職。専門は地域社会学、食と農の社会学。有機農業や都市農業の動向に着目し、フィールドワークに取り組んでいる。著者に『日本の食と農の未来—「持続可能な食卓」を考える』(光文社新書 2021)。

オンライン講義

2022年6月～9月 / 原則として木曜日19:00～21:00

●全5回 ●開催形式:オンライン(zoom)

6/23(木) 19:00～21:00

都市の再生と農の力



高木恒一

立教大学社会学部 教授 /
共生社会研究センター長

小口広太
千葉商科大学人間社会学部 准教授
PARC 理事



講座のガイダンス。コロナ禍という経験を通じてライフスタイルが大きく変わろうとしている。「都市か農村か」という2分法に陥ることなく、都市の持続可能性と都市生活者のライフスタイルをどう変革できるのか、その可能性を農的コミュニティという視点から考える。また、都市は今、どのような現状にあるのか。都市の再開発が進む中、高齢化、人口減少という縮退の局面に入る都市の持続可能性について現状と課題を整理する。

8/19(金) 19:00～21:00

都市生活者と一緒につくる CSA の可能性



今村直美

一般社団法人風の色 代表理事 / 一般社団法人空(福祉職員) /
川村学園女子大学非常勤講師

千葉県我孫子市で新規就農し、CSA を立ち上げ運営していく中で、障害者と共に農業をしていく可能性に気付く。その後福島県に移住し、農福連携で取組む CSA × 都市生活者のライフスタイルの新たな実践を模索している。

9/1(木) 19:00～21:00

自然とともに、人を育てる農の力



小島希世子

NPO 法人農スクール代表 / (株)えと菜園代表取締役

神奈川県藤沢市で独立就農し、農業体験農園と就労支援に取り組んでいる。農の営みに関わることで、人びとのライフスタイルがどう豊かになり、人びとの人間的な成長につながるのか。農の営みが持つ潜在的な力について考える。

7/7(木) 19:00～21:00

街の未来を、田舎の未来を、
人の未来を、先に生きてしまえ！



高坂 勝 NPO 法人 SOSA Project 主宰

過分に儲けられないビジネスを構築。週休三日で米作りで千葉と二拠点居住。後に移住。経済成長でしか青写真を描けない？経済成長を放棄した先を生きて、時代を先導しよう。

9/30(金) 19:00～21:00

都市のトランジションをデザインする



中野佳裕 立教大学21世紀社会デザイン研究科 特任准教授

ポストコロナ時代にどのようなライフスタイル、都市のあり方が求められるのか。脱成長、都市コモンズをキーワードに、都市の中のトランジションについてみんなで議論する。

フィールドワーク

2022年7月、9月 / 土曜日 日中

●全2回 ●開催形式:対面(フィールド) ●定員:20名

7/23(土) 日中

【フィールドワーク:埼玉県草加市「ハラッパ団地」を訪ねる】

団地に畑があるということ



細越雄太

株式会社農業企画 代表取締役

ハラッパ団地・草加は、埼玉県草加市の元社員寮をリノベーションした賃貸住宅です。入居者や近隣住民が多様性を認め合い、共通体験を得るための一助として畑を設置しました。畑を中心にした農や食の企画を通したコミュニティ形成に取り組んでいます。

9/17(土) 日中

【フィールドワーク:東京都多摩市「青木農園」を訪ねる】

都市で食と農をつなぐ



青木幸子 青木農園 代表

東京都多摩市で都市農業を実践し、直売に加え、母屋を改装して古民家レストランをオープン。都市生活者との近さをいかし、食を起点に農の大切さ、農の営みの豊かさを伝えている。食から農に接近し、都市農業を守り、どう持続可能な都市をつくれるのかを考える。